

図書館だより 4号



7月

令和4年7月19日
第一日暮里小学校
校長 白井 一之
学校図書館プロジェクト



ことし なつやす しら がくしゅう ちようせん
今年の夏休みも「調べる学習」に挑戦しましょう!



なつやす ことし がっこうとしよかん つか しら がくしゅう と く
いよいよ夏休みがスタートします。今年も「学校図書館を使った調べる学習」に取り組みましょう。

せんじつ どのようこうかいび いねんせい おやこ しら がくしゅう おこな みぢか い もの きようみ
先日の土曜公開日には、1年生の「親子で調べる学習」が行われました。身近な生き物から興味

ほん か がようし
をもったことをテーマにし、本から「わかったこと」を書きぬき、画用紙にまとめることができました。

なつやす ちゅう ごぜんちゅう かいかん かつよう
夏休み中も午前中は開館していますので、活用してください。

らいかんじ しょくいんしつ こえ
(来館時には、職員室に声をかけてください。)

めざせ読書王!

なつやす ちゅう ほん よ
☆夏休み中もたくさん本を読みましょう!

どくしょきろく きにゆう ていしゅつ
☆読書記録カードに記入して提出しましょう。

さつじじょう
1・2年生…50冊以上

いじょう
3～5年生…3000ページ以上

よ しょうじょう
読むと、賞状がもらえます。

Motto Sokkaも

かつよう
活用しましょう!

よ ほん
☆Motto Sokkaで読んだ本について

どくしょきろく きにゆう
も、読書記録カードに記入できます。

かた かつよう
☆おうちの方もぜひご活用ください。

夏休み中も、「親子で読書」の取組にご協力をお願いします!

ひごろ ほんこう どくしょかつどう りかい きょうりよく
日頃より本校の読書活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

おやこ どくしょ はいふ しんがつき ていしゅつ ねが
「親子で読書カード」を配布しましたので、新学期に提出をお願いします。

① 調べる学習のポイント



1. テーマを決める

じぶん きょうみ かんしん
自分が興味、関心をもったことをテーマにします。

ぐたいてき よんで もくじ くふう
◆具体的で読んでみたくなるタイトルや目次を工夫しましょう。

2. 資料・情報を集める

しりょう じょうほう あつ ほうほう としょかん しら ほか じっさい い かんさつ
資料・情報を集める方法には、図書館で調べる他に、実際に行く、観察、インタビューする、

じっけん でんわ と あ しら ほうほう
実験する、電話で問い合わせる、インターネットで調べるなど、いろいろな方法があります。

ほうほう ほうほう く あ と く
◆1つの方法ではなく、いくつかの方法を組み合わせて取り組みましょう。

3. 記録・整理する

しら ば しょめい ちよしゃめい しゅっぱんしゃめい しゅっぱんねん しょぞうとしょかん きろく
調べたその場で、書名、著者名、出版社名、出版年、所蔵図書館などを記録しましょう。

あと きろく たいへん ず ひょう しゃしん つか ばあい どうよう
後から記録するのは大変です。図・表・写真を使った場合も同様です。

さんこうぶんけん さんこうしりょう さいご
「参考文献(参考資料)」として、レポートの最後にのせましょう。

さんこう ばあい めい ちよしゃめい び
◆インターネットを参考にした場合は、サイト名(わかれば著者名)、アクセス日とアドレスを

きろく
記録しましょう。

さつじじょう ほん つか しら
◆5冊以上の本を使って調べられるとよいです。

4. 作品にまとめる

しんぶん つた ほうほう くふう
まとめ方は、レポート、ポスター、新聞など伝わりやすい方法を工夫しましょう。

しら ほか じぶん かんが か くわ
調べたこと他に、自分の考えを書き加えます。

◆「調べる学習コンクール」出品作品の大きさは、最大B4サイズ、50ページ以内です。

◆「わたしはこう考えた」「本で調べてみたら、こう書いてあった」というように、ほかの人が読んでも分かるように書きます。

◆文体は常体（～である。～だ。）か、敬体（～です。～でした。）にそろえます。

◆引用は「 」でくります。

◆図表・グラフ・写真等を引用する時は、引用した箇所のそばに出典を明記します。

ちゅうい
注意!!

さんこうぶんけん わす
参考文献を忘れずに!

ちよしゃめい しよめい しゅっぱんしゃめい しゅっぱんねん つか
著者名・「書名」・出版社名・出版年・使ったページ

さんこうぶんけん しら つか ほん しんぶん
参考文献とは、調べたときに使った本や新聞、インターネットなどのことです。

としよかん つか しら がくしゅう かなら しょう ほん
「図書館を使った調べる学習コンクール」では、必ず使用した本について、

じょうき こうもく さいご か
上記の項目を最後に書いてください。

ていがくねん ひと うち ひと か
◆低学年の人は、お家の人に書いてもらってもよいです。

しよしき き と かのう
◆書式を切り取ってはりつけ可能です。

さつじじょう ほん つか しら
◆5冊以上の本を使って調べられるとよいです。

どくしょかんそうぶん

②読書感想文のポイント

どくしょかんそうぶん かんどう つた ぶん
読書感想文は感動を伝える文です。

かんそうぶん よ ともだち ほん よ おも かんそうぶん め ぎ
感想文を読んだ友達が「その本、読んでみたい。」と思えるような感想文を目指しましょう。

なつやす ぜんがくねん どくしょかんそうぶん しゅくだい て
夏休みには、**全学年、読書感想文ワークシートが宿題に出ます。**

かんそうぶん したが と く
感想文の下書きになりますので、しっかり取り組みましょう。

ていがくねん 1・2ねんせい ばあい こども ようす おう いっしょ ほん よ とき ひょうじょう
低学年（1・2年生）の場合は、子供の様子に応じて、一緒に本を読んだ時のつぶやきや表情

とき こども かんが ほごしゃ ふせん のこ ほうほう
(その時に子供が考えていること)を、保護者が**付箋などにメモで**残しておく方法があります。

かんそうぶん か じゅんじょ ぶんしょう はしら た
メモをもとに、どんなことをテーマに感想文を書くのか、どんな順序で文章の柱を立てるのか

き か
決めて、書くとよいでしょう。

ちゅうがくねん 3・4ねんせい ばあい よ かんそう ぎもん ふせん か
中学年（3・4年生）の場合は、読みながら、感想や疑問などを**カードや付箋**に書くとよいでしょう。

あと くわ か ないよう き て よ かんそう ぎもん かいけつ
う。後で、詳しく書く内容を定める手がかりになります。読んだ感想から、疑問を解決するための

ほうほう かんが ぶん こうせい はじ なか お く た よ おじゅん
方法を考えるのもよいでしょう。文の構成を、始め・中・終わりで組み立て、読んでみて矛盾がな

たし
いか確かめます。

こうがくねん 5・6ねんせい ばあい わ ちよしゃ かんが じぶん かんが ふせん
高学年（5・6年生）の場合は、分かったことや著者の考えと、自分の考えを**付箋やノート**に

か かんそう せいり かんそうぶん ないよう じつぶつ み ほか ほん あ
書き、感想を整理するとよいでしょう。感想文の内容によっては、実物を見る、他の本に当たる、

はくぶつかん しりょうかん たず どくしょ せいかつ い じぶん せいちょう
博物館や資料館を訪ねる、インタビューするなどしましょう。読書が生活に生かされ、自分の成長

かん かんそうぶん
が感じられるような感想文になるとすてきです。

どくしょ とお かんが か たの おも じぶん あ ほん えら
読書を通して考えること、書くことが楽しいと思えるように自分に合った本を選びましょう。

ほん えら 1. 本を選ぶ

じぶん あったほん ほん せつめい ほん えら
自分に合った本、なぜこの本にしたかを説明できるような本を選びましょう。

よ 2. 読む

ぜんたい よ とお
1回目 全体を読み通す。

かんそうぶん か ふせん は よ
2回目 感想文に書きたいところに付箋を貼りながら読む。

ふせん りよう つく
3回目 付箋などを利用してメモやカードを作る。



こうせい 3. 構成する

はじめ なか お こうせい はしらた かんが
始め・中・終わりの構成(柱立て)を考える。

か 4. 書く

はじ か だ くふう
①始め…書き出しを工夫する

ほん よ おも かんそう たいけん きもん かいわぶん
この本を読もうと思ったきっかけ、感想につながる体験、なぜ?という疑問、会話文、

かんどう ばめん か だ よ ひと かんそうぶん ひ くふう
感動した場面などから書き出し、読む人が感想文に引きつけられる工夫をする。

なか かんそうぶん ちゅうしん
②中…感想文の中心

はしらた そ げんこうようし か よ なお かんが か
柱立てに沿って、どんどん原稿用紙に書いていく。読み直すうちに考えが変わっても

じぶん い いちばんあらわ するし つ か
よい。自分の言いたいことが一番表されているところに◎などの印を付けておく。書き

お か まちが なお げんこうようし き は ぜんたい
終えたら、書き間違いを直したり原稿用紙を切り貼りしたりして、全体をまとめていく。

お むす くふう
③終わり…結びを工夫する。

ほん よ じぶん かんが か せいちょう かんが か
本を読んで自分の考えが変わったことや、成長できたことを考えて書く。

だいめい くふう よ かんそう ちゅうしん ことば ぶん だいめい
④題名を工夫する。「○○○を読んで」ではなく、感想の中心となる言葉や文を題名にして、

よ ひと きょうみかんしん たか
読む人の興味関心を高める。

せいしょ
⑤清書する。

せいしょうねんどくしょかんそうぶん

おうぼようこう

青少年読書感想文コンクールの応募要項より

(主催:公益社団全国学校図書館協議会・毎日新聞社)

たいしょうとしょ
対象図書

下の①か②のいずれか

① じゅうとしょ
自由図書

じゅう えら と
自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

② かだいとしょ
課題図書

どくしょかんそうぶんぜんこく しゅさいしゃ してい としょ
読書感想文全国コンクール主催者の指定した図書。

ようし じすう
用紙・字数

① げんこうようし つか が じぶん じ か
原稿用紙を使い、たて書きで、自分の字で書きます。

② もじすう
文字数

じいない
低学年の部(1・2年生) 本文 800字以内

じいない
中学年の部(3・4年生) 本文1200字以内

じいない
高学年の部(5・6年生) 本文1200字以内

だいいめい がっこうめい しめい じすう かぞ
●題名、学校名、氏名などは字数に数えません。

うえ か じすう こ さいご ぎょう か
上に書かれた字数を超えないはんいで、できるだけ最後の行まで書きましょう。

くとうてん じ かぞ ぎょう か くはく じすう
●句読点(、や。)はそれぞれ1字に数えます。行を変えるための空白は字数として数えます。

か かた まよ とき どくしょかんそうぶん さくぶん か かた か ほん
●書き方に迷った時は、読書感想文や作文の書き方について書かれた本があります。

さんこう
参考にしてください。

参考・引用文献リスト (本を参考にした場合)

作品名:

あなたの名前:

NO.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	図書館名 とせいきゆう 記号

参考文献 (新聞記事を参考にした場合)

作品名:

あなたの名前:

記事を書いた 人の名前	新聞記事名	新聞紙名	出版年月日	朝夕刊	ページ

参考文献

(Webページを参考にした場合) 作品名:

あなたの名前:

Webページ を制作した 人・団体名	Webページ名	Webサイト名	更新年月日	URL	アクセス年 月日